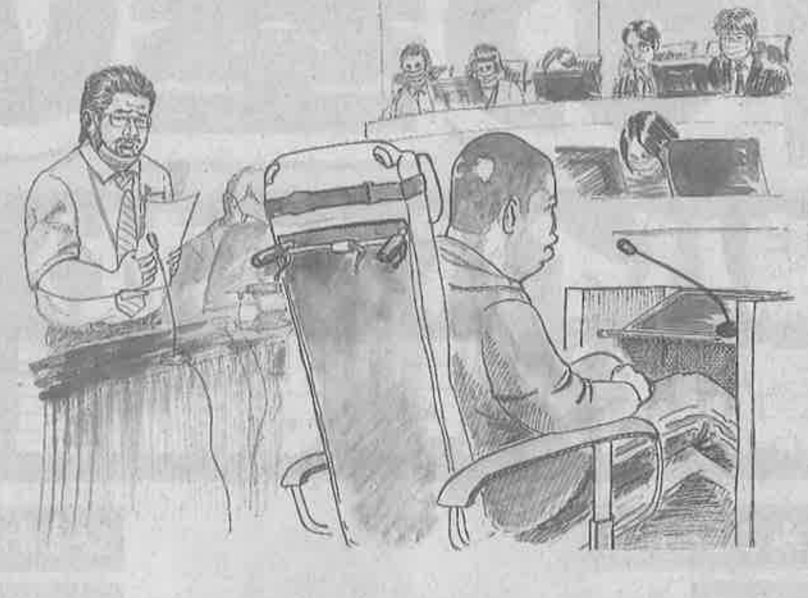
持論繰り返し 見えぬ反省

青葉被告 京アニ公判折り返し

見守る遺族 諦めも

青葉真司被告

36人が死亡した2019年7月の京都アニメーション放火殺人事件の裁判員裁判は全日程の約半分を終えた。殺人罪などに問われた青葉真司被告(45)は、京アニが自分の小説のアイデアを盗用したとする持論を繰り返し主張。明確な反省の態度を見せていないままだ。やりきれぬ思いで公判を見守る遺族からは諦めの声も漏れる。


犠牲になった寺脇（池田）晶子さんの夫からの質問に答える青葉真司被告（イラストと構成・田村角）＝2023年9月20日

「京アニが私にしたことは不問にするのか」「（放火殺人の）被害者という立場だけ述べて、良心の呵責はないのか」

9月20日の公判。遺族の代理人らから質問を受けた被告は興奮した様子で反論した。

被告はこれまでの公判で、事件について「（京アニの小説コンクールで）原稿を落とされたり内容をぱくられたり、一番根に持つような部分が大きかった」と説明。小説落選は、世界中に人脈を持つ「闇の人物」「ナンバー2」が「自分に発言力を持たせたくないため圧力をかけた」との陰謀論めいた主張も繰り返してきた。

公判には京アニの八田英明社長も証人として出廷。「人さまのアイデアを盗む会社ではない」と盗用を明確に否定したが、被告はその後も「（社長は）立場から、いって、ああ言うしかないと思う」と強調した。

一方で後悔をうかがわせるような発言も。36人が犠牲になったことに対する今の心境を「現在はやり過ぎと思っている」「いくらなんでも小説一つでそこまでしなきゃならないのかというのが自分の正直な気持ち」と明かした。

遺族が直接「放火殺人の対象に家族や子どもがいると知っていたか」と質問した際には「申し訳ございません。そこまで考えてなかった」と謝罪の言葉も出た。ただ、被告のその他の発言から、事件に真摯に向き合った上での謝罪ではなく、やりとりの中で反射的に口にしただけとの受け止めが大半だ。

「むなしい」。裁判を傍聴したある遺族は力なく話す。同様の事件

きないことにつ
になればと望ん
被告は自分のこ
死に話している
めの気持ちも抱
も「謝罪の言葉
しは気持ちが変
れない」とのか
は残っている。

犠牲になった
ん＝当時(47)＝
ん(80)と、母
(75)も無力感に
る。「反省して

ズーム

京都アニメーション放火殺人事件　2019年7月18日午前10時半ごろ、京都市伏見区の京都アニメーション第1スタジオから出火、社員ら36人が死亡し32人が重軽傷を負った。京都府警は20年5月、殺人などの疑いで青葉真司被告を逮捕。京都地検が殺人など五つの罪で起訴した。裁判員裁判は京都地裁で9月5日から始まり、来年1月25日の判決まで二十数回開かれる予定。第12回公判まで進み、事件の経緯や動機に関する審理が終了した。今月23日の公判から、最大の争点となっている刑事責任能力の審理が行われる。

NTT西情報流出で

岡山県警 自治体など被害広

NTT西日本の子会社で働いていた元派遣社員が約900万件の顧客情報を不正流出させた問題で、岡山県警が不正競争防止法違反の疑いも視野に捜査を始めたことが19日、捜査関係者への取材で分かった。蜂蜜を使った健康食品などの製造販売で知られる山田養蜂場（岡山県鏡野町）も同日、顧客の氏名や住所、電話番号など約400万件の個人情報が漏えいし

あるとホームペ
した。

NTT西グル

世界の水銀汚染に危機感

故ユージンさん元妻

「被害者連帯」米で訴え

講演するアイリーン・美緒子・スミスさん。スクリーンに映るのは、1970年代に水俣市に滞在していた頃に撮影されたユージン・スミスさん（右）とアイリーンさんの写真＝18日、米シカゴ

【シカゴ共同】写真家の故ユージン・スミスさんの元妻で共に水俣病を世界に伝えたアイリーン・美緒子・スミスさん(73)＝京都市＝が18日、米シカゴのデュポール大で講演した。水銀による健康被害の防止を目指す「水銀に関する水俣条約」の採択から今月で10年。アイリーンさんは、世界で水銀汚染が進んでいると語り「被害者の連帯が重要だ」と訴えた。

アイリーンさんはユージンさんと1970年代に水俣市に滞在。講演では当時の写真を見せながら、原因企業チッソが利益のため「町を使い捨てた」と批判した。近年、南米では金の違法採掘で使用される水銀による汚染が広がっている。アイリーンさんは「深刻な健康被害を受けている人たちがいる」と危機感を示した。

アイリーンさんはデュポール大などの招待で訪米。水俣病被害者の思想に関する著作がある同大の宮本ゆき教授＝広島市出身＝らが講演を企画した。参加した日本語教師アシュリー・ホウプトさん(31)は「水俣病のことは知らなかったが、被害者の役に立ちたいと思った」と話した。

大学では18日、ユージンさんやアイリーンさんらが撮影した水俣病に関する写真の展示が始まった。19日にはアイリーンさんが展示について学生に説明する。

新潟水俣病 来年4月判決

国、企業に賠償請求 地裁提訴の47人

新潟水俣病の被害を訴える新潟市などの約150人が、国と原因企業の昭和電工（現レゾナック・ホールディングス）に損害賠償を求めた訴訟の口頭弁論が19日、新潟地裁（島村典男裁判長）で開かれた。このうち47人については次回期日で結審する見通しで、判決期日は来年4月18日に決まった。

水俣病特別措置法に基づく救済の対象外になった男女が2013年、1人当たり880万円の賠償を求め提訴し、その後も追加提訴が続いていた。19日の弁論では皆川栄一原告団長(80)が意見陳述し「私が水俣病であることを証明するのに、なぜ10年もの長い時間が必要だったのか」と訴え、「判決が全ての水俣病被害者救済につながる歴史的判決になることを願う」と力を込めた。

差別や偏見を恐れて自身の被害を家族以外に言えないでいるという60代女性は「熊本で水俣病が起きた時点で国が必要な対策を講じていれば、第二の水俣病は起こらなかった」と批判した。

同様の訴訟は東京、大阪、熊本の各地裁でも起こされ、うち大阪地裁は9月、原告128人全員を水俣病と認め、国と熊本県、原因企業のチッソに賠償を命じた。熊本地裁の判決は来年3月22日に言い渡される予定。

イワシ死骸 90㌧回収

天草市の漁港

18日にイワシ
見つかった天草
御領漁港では、
者が死骸の回収
70㌧を引き上げ
ると、作業はヤ
ており、20日に
込み。

19日は市や漁
漁業、建設業の
80人が作業。流
めに設置したオ
スなどで集めた
や手作業で引き
日間で約90㌧を
人家のない市内
時仮置きし、処

上皇后さま 89歳に

上皇后美智子さまは20日、89歳の誕生日を迎えられた。宮内庁によると、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが変更された5月以降、外出の機会が増加。4年ぶりに京都、奈良を私的旅行し、静養で長野・軽井沢へ赴いた。太平洋戦争で犠牲になった民間船員らの追悼式が50回の節目を迎えた際は、上皇さまと共に戦時中のことをよく話されていたという。

上皇さまと歩かれる上皇后美智子さま＝6日、東京・元赤坂の赤坂御用地（宮内庁提供）

体調面は、午後に微熱が出る症状が3年以上あり、心不全の診断指標となる数値は正常を超える状態が続く。体力の低下が進み、上皇さまが「大丈夫？」と声をかけ、体調を案じられているという。

クマ被害 女子高生ら7人けが

岩手県と秋田県で19日、クマに襲われる事故が相次ぎ女子高生ら計7人がけがを負った。岩手では女性1人の遺体が見つかり、県警がクマの被害の可能性があるとみて調べている。

岩手県八幡平市作平の山中で午後2時ごろ、クマに襲われた男性に助けを求められた通行人が119番した。岩手署によると、男性は頭や両手首を負傷。一緒に襲われた女性は行方不明となった。山中で女性の遺体が見つかり、同署は身元や関連を調べている。

秋田県北秋田市中心部の住宅街で午前6時40分ごろ、通学途中の高校1年の女子生徒(16)を含む男女5人が相次いでクマに襲われた。北秋田署によると、83歳の女性が肩や腕を骨折し、ほか4人は頭や顔を引っかかれるなどのけがをした。同市五味堀では午後、帰